

概要

【修業年限】 2年

【学位名称】 修士(看護学)

【募集人員】 15名程度

出願資格

①一般入試

一般入試の出願資格のいずれかの条件を満たし、日本の看護師国家資格を有する者、または看護師国家試験受験資格を有し看護師国家資格を取得見込みの者（※入学時、看護師国家試験に合格していることを入学の条件とする。不合格の場合は入学許可を取り消す場合がある。）

②社会人入試

一般入試の出願資格のいずれかの条件を満たし、日本の看護師国家資格を有し、2018年（平成30年）3月31日現在で、常勤・非常勤を問わず、職務経験が3年以上となる者

③学内推薦入試

本学専任教員が推薦し学科の現学科長が承認した者で、日本の看護師国家資格を有する者、または看護師国家試験受験資格を有し、看護師国家資格を取得見込みの者
※国際医療福祉大学を卒業した者、および2018年（平成30年）3月末までに卒業見込みの者

看護学分野 公衆衛生看護学領域 実践コース

高い専門性と実践能力を備えた保健師を育成することをめざし、2018年4月、全国で11番目となる保健師の大学院教育課程を開設します。**保健師国家試験受験資格と修士(看護学)の学位の両方が得られます。**



● **特色1** 保健医療福祉の総合大学の特色を活かした「専門性」「学際性」「学術性」の高い教育を行っています。一例として、保健師が効果的な保健指導を行うには疾病や薬理などの高度な医学的知識が必要です。また、多職種と連携を図るにあたり疾病・治療に対する理解が必要であることから、本実践コースでは特定行為看護師養成分野の専門科目の一部を必修科目に位置づけています。

● **特色2** 実習時以外は授業を週3日程度に集中させ、ゆとりをもった授業計画を展開します。また、東京赤坂キャンパス(2018年4月開講予定)は交通の便が良好で、社会人が勤務しながら履修できる環境も整っています。

● **特色3** 担当教員全員が「行政機関での保健師実務経験が豊富」で「多様な研究領域を専門」としてしています。

**2018年4月入学者
募集中！**

※入試に関する詳細は大学院ホームページ又は下記QRコードの募集要項にてご確認ください。



【担当教員紹介】

教授 臺 有桂

(2018年4月着任予定)



博士(看護学)
聖路加看護大学卒業、聖路加看護大学大学院修士課程修了。国際医療福祉大学大学院博士課程満了。横浜市立大学医学部看護学科准教授、鎌倉女子大学短期大学初等教育学科教授を歴任。専門領域は、公衆衛生看護学、地域保健、小児保健。研究テーマは「健康な町づくり」「保護者支援」「発達支援」など。

准教授 山下 留理子



博士(看護学)
徳島大学大学院人間自然環境研究科修士課程修了。国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究科博士課程満了。徳島大学助教、徳島文理大学講師を歴任。専門領域は公衆衛生看護学、災害看護。研究テーマは「保健指導」「防災教育・災害看護」「認知症高齢者」。

准教授 鳥本 靖子



博士(看護学)
大阪大学医学部保健学科看護学専攻卒業、米国エモリー大学公衆衛生大学院修士課程修了、東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科博士課程修了、東京慈恵会医科大学助教、ダイヤ高齢社会研究財団研究員を歴任。専門領域は公衆衛生看護学、高齢者保健。研究テーマは「在宅介護者への支援と健康問題」「高齢期の暮らしと健康」。

【お問い合わせ先】

山下留理子 yamashita@iuhw.ac.jp

鳥本靖子 torimoto@iuhw.ac.jp

国際医療福祉大学大学院

東京青山キャンパス

TEL: 03-6406-8621

E-mail: tokyo.s.c@iuhw.ac.jp

【本実践コースがめざす教育方針】

国際的な視野に立って、多様化する保健医療福祉需要に対応できる指導的な人材の養成をめざしています。また、これからの保健師に求められる疫学研究やデータの判読・処理・活用ができる能力、個別支援の能力、施策化能力を育成できるようカリキュラムを構成しています。

【修了要件】保健師国家試験受験資格に必要な科目(28単位)と大学院修了に必要な科目(30単位)、計58単位の修得と課題研究の審査合格

【履修モデル】

1年次	前期	後期
共通科目	修士課程のための研究法入門(2) 統計学(2) 精神保健・社会精神医学論(2)	医学データ解析入門(2) 疫学概論(2) 障害科学(2) 医療経済学(2) 災害医療論(2)
看護共通科目	看護倫理学(2)	
特定行為看護師養成領域の科目	臨床病態生理学I(基礎)(2) 臨床薬理学I(基礎)(2) 疾病・臨床病態概論I(基礎)(2) 感染特論(2)	
実践コース 専門科目	保健医療福祉行政論[修士]I(基礎)(2) 公衆衛生看護学原論[修士](2) 実践公衆衛生看護学方法論[修士]I(基礎)(2)	保健医療福祉行政論[修士]II(発展)(2) 実践公衆衛生看護学方法論[修士]II(発展)(2) 実践公衆衛生看護学演習[修士]I(個人・家族支援技術)(2) 実践公衆衛生看護学演習[修士]II(集団への支援技術)(2)
	必修科目22単位+選択科目	必修科目18単位+選択科目
2年次	前期	後期
実践コース 専門科目	実践公衆衛生看護学演習[修士]III(事業化・施策化)(2) 公衆衛生看護管理論[修士](2) 公衆衛生看護学実習[修士]I(行政)(4)	公衆衛生看護学に関する課題研究[修士](2) 公衆衛生看護学実習[修士]II(組織・団体等)(2)
	必修科目8単位+選択科目	必修科目4単位+選択科目
修了必要単位数	必修52単位+選択科目6単位以上	

【授業スケジュールの一例】

前期	月	火	水	木	金	土
1限						
2限						
3限				修士課程のための研究法入門	臨床病態生理学I	精神保健・社会精神医学論
4限				疾病・臨床病態概論I(基礎)	臨床薬理学I(基礎)	
5限				感染特論	公衆衛生看護学原論[修士]	保健医療福祉行政論[修士]I(基礎)
6限				統計学		実践公衆衛生看護学方法論[修士]I(基礎)
7限					看護倫理学	

後期	月	火	水	木	金	土
1限						
2限						
3限				実践公衆衛生看護学方法論[修士]II(発展)		
4限				*実践公衆衛生看護学演習[修士]I(個人・家族支援技術)	障害科学	疫学概論
5限				*実践公衆衛生看護学演習[修士]I(個人・家族支援技術)	医学データ解析入門	保健医療福祉行政論[修士]II(発展)
6限				*実践公衆衛生看護学演習[修士]II(集団への支援技術)	医療経済学	
7限				*実践公衆衛生看護学演習[修士]II(集団への支援技術)	災害医療論	

【実習先】東京都内23区の保健所・保健センター(4週間)
関連施設の健診センター、児童福祉施設、事業所、地域包括支援センターなど(2週間)